

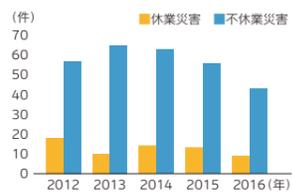


# 安全・安心な職場づくりと グローバル人財の 育成を推進します。

## グループで取り組む安全衛生活動

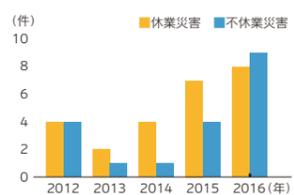
日軽金グループは、労働安全衛生法に定められた事業場ごとの安全衛生委員会に加え、各社単位やグループ全体の安全衛生委員会を設置、運営しています。グループ安全衛生委員会は、グループ主要会社の社長と労働組合役員で構成され、グループとしての安全衛生方針や目標などを審議・決定しています。

労働災害発生状況(国内)



2016年(暦年)の労働災害発生状況は、海外を含むグループ全体で休業災害が17件、不休業災害が52件発生しました。ここ数年の傾向は大きく変わっており、残念ながら、再発防止やリスク低減活動、教育・啓発活動の十分な効果が得られていません。

労働災害発生状況(海外)



## 第4次安全衛生中期活動指針

2017年からスタートしたグループの安全衛生中期活動指針(第4次)では、従来の「現場力」、「管理力」、「技術力」、「健康力」の側面に「総合力」を加えて、それぞれの活動を統合した展開ができるよう、見直しました。

日軽金グループ 第4次安全衛生中期活動指針

中期活動指針	2017年	2018年	2019年
総合力UP	安全への「気づき」の高揚と事故未然防止活動の強化		
現場力UP	重点事業所支援 危険感受性向上活動と見過ごさない強い行動 現場から生まれる安全活動の推進		
管理力UP	監査実施(全事業所)、SMS認定グループ展開 SMS推進者、安全管理者社内育成、自社教育の展開		
技術力UP	設備安全基準のグループ展開 RAによるリスク低減(教育、実践支援)		
健康力UP	腰痛熱中症対策、受動喫煙防止対策の継続 メンタル対策、感染症対策の継続		

チームワークの安全活動

## 現場力向上

現場の安全意識の向上のため、安全体感教育を行っています。危険を体験し、怪我をすることの怖さを知ること、安全の大切さをより深く理解するためのプログラムです。2016年は、3回112名が体験しました。また、危険予知トレーニング(KYT)で、潜在的な危険の存在を発見できる感受性と安全行動がとれる力を訓練しています。

## 管理力向上

安全衛生マネジメントシステム(SMS)の導入に取り組んでいます。現在16事業場で導入しました。さらに、安全統括部門による安全監査も行って、各事業場の安全衛生活動のPDCAの状況を確認しています。また、「安全自主研」を行って、改善ができる人財の育成を行っています。

## 技術力向上

「設備安全基準」を策定し、機械の安全化を進めています。さらに、リスクアセスメントを通してリスク低減を行っています。

## 健康力向上

腰痛などの疾病予防、禁煙活動などの生活改善、感染症予防、メンタルケアなどに取り組んでいます。

## 総合力向上

災害が発生した際の再発防止策の横展開や、災害多発事業所への重点的な人財投入などを通じて、グループ全体の安全レベルの底上げを図っています。

こうした活動を通じて、「完全ゼロ災害」を達成して、グループの誰ひとりとしてケガをしないで家に帰れることを目指しています。

## いろいろな安全活動の様子



グループ安全衛生委員会の様子



クレーン吊り具挟まれ体験  
(日本フルハーフ株式会社・厚木工場)



ローラー巻き込まれ体験  
(日本軽金属株式会社・名古屋工場)



危険予知トレーニングの様子(東陽精密機器有限公司)



安全自主研の様子(左:静岡興産株式会社、右:日軽形材株式会社)



## 製造現場の人財育成

日軽金グループは、製造現場の人財育成と改善活動推進を目的に、「改善事例発表大会」を開催しています。発表の内容は、安全向上、品質改善、コスト削減など多岐にわたります。この大会には、グループの海外事業所からも参加しています。2017年6月の大会では、ニッケイ・サイアム社(タイ)の熱交換器工場が参加しました。日軽金グループは、こうしたプログラムを通じ、ものづくりのプロを育成しています。

### ニッケイ・サイアム社から参加したみなさんのコメント

- 私たちの工場は、改善活動に取り組み始めたばかりで、まだ取り組む課題は多いと感じています。今回、この大会に参加できたことは、貴重な経験です。製造現場の仲間がチームとして、意欲をもって改善活動に参加し、ともに学び、さらに強い工場にしていきたいと思っています。
- KAIZENに取り組むことで、自分たちの製品や設備に関する多くの新しい知識を得ました。また、チームワークや問題解決の分析手法を学ぶことができました。
- 今回の大会に会社の代表として参加することができ、とても興奮し、また誇らしく思います。
- この大会で、工夫された新しい技術などを学ぶことができました。私たちも、自分たちでもっと考え、よりよい仕事ができるように、チームの仲間を紹介していきます。
- これからもイノベーションと改善を生み出すため、この活動を続けていきたいと思っています。



海外事業所からの参加(ニッケイ・サイアム社 熱交換器工場)